ShineNeT Internet Service

インターネット接続ガイド

Windows98(Second Edition)編

第１版　2000年１月１日　発行

Shine On
Scalable,hi-quality network On ...

有限会社　シャイン・オン

Windows98は、インターネットに接続する為に必要なソフトウェアが標準でインストールされています。

ここでは、Windows98 second edition及び、Windows98に、Internet Explorer 5を導入した場合に、『インターネット接続ウィザード』を使用してのインターネット接続の設定を説明します。

お送りしました。『ShineNeT Internet Service　設定書』を用意して、Dialup ID及び、Dialup Passwordをご確認下さい。
また、モデム又はTAを新たに接続する場合は、付属していたフロッピーディスク及びCD-ROMを準備します。

モデムを確認します。

モデム内蔵のパソコンの場合は、出荷時にモデムが設定されています。この場合は、『２．インターネット接続ウィザードの起動』に進みます。

Windows98のスタートメニューから［設定］→［コントロールパネル］を選択します。

［コントロールパネル］の中から、［モデム］を選択して、ダブルクリックします。

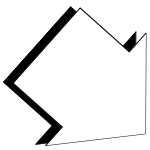
現在、設定されているモデム又はTAが表示されます。

もしも、モデム又はTAが表示されない場合は、設定されていませんのでモデム又はTAをパソコンに接続してから、モデム又はTAに付属の説明書に従い設定を行います。

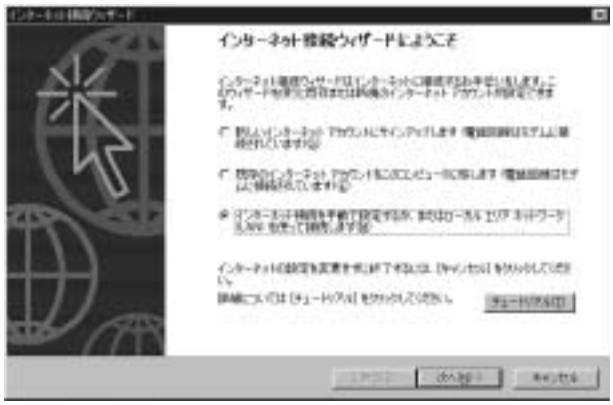
インターネット接続ウィザードの起動

Windows98をインストールした状態では、デスクトップに『インターネット接続ウィザード』のアイコンがありますので、そのアイコンをダブルクリックします。

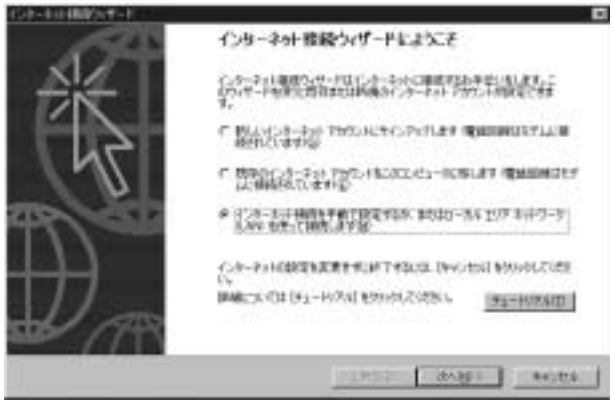
アイコンがない場合は、Windows98のスタートメニューから［プログラム］→［アクセサリ］→［通信］→［インターネット接続ウィザード］を選択します。



これで、『インターネット接続ウィザード』が起動されて、下記の画面が表示されます。



③ モデム又は TA の設定を行います。



『インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します。』を選択します。

【次へ】をクリックします。

『電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します。』を選択します。

【次へ】をクリックします。

設定されている、モデム又はTA を選択します。
複数のモデム又はTA を設定している場合は、モデム名の左側の『▼』をマウスでクリックすると、モデム又はTA が一覧表示されます。
使用する、モデム又はTA をマウスで、選択します。

【次へ】をクリックします。

ShineNeT への接続電話番号を入力します。

お送りしました、『ShineNeT ダイアルアップ接続　アクセス電話番号一覧』をご確認いただき、正確に入力します。

【次へ】をクリックします。

ShineNeT への接続アカウントを入力します。

［ユーザー名］と［パスワード］は、ご契約者毎に違います。お送りしました、『ShineNeT ダイアルアップ接続設定書』をご確認いただき、正確に入力します。

［ユーザー名］には、"Dialup ID" の内容を、
［パスワード］には、"Dialup Passward" の内容を入力します。

【次へ】をクリックします。

※［パスワード］で入力した文字は、＊＊＊＊＊＊＊＊
　と表示されます。

接続名を入力します。

この名前で、接続アイコンが作成され後程、設定します、Internet Explorer 等でこの［接続名］が使用されます。

【次へ】をクリックします。

メールの設定を行います。

メールの設定は、ここで設定しなくても、Outlook Expressの中で設定できます。
今回はここで設定する方法を説明します。

［はい］を選択します。

【次へ】をクリックします。

［新規のインターネットメールアカウントを設定する。］を選択します。

【次へ】をクリックします。

名前を入力します。

この名前は、送信したメールに送信者として表示されます。
通常は、ご自身のお名前を入力します。

【次へ】をクリックします。

メールアドレスを入力します。

お送りしました、『**ShineNeT** ダイアルアップ接続設定書』をご確認いただき、正確に入力します。

"Mail ID"@shinenet.ne.jp

となります。

【次へ】をクリックします。

メールサーバーを入力します。

受信メール（POP3、IMAP 又は HTTP）サーバーは、

mail.shinenet.ne.jp

送信メール（SMTP）サーバーは、

smtp.shinenet.ne.jp

となります。

【次へ】をクリックします。

メールアカウントを設定します。

お送りしました、『**ShineNeT** ダイアルアップ接続設定書』をご確認いただき、正確に入力します。

［アカウント］は、"Mail ID"
［パスワード］は、"Mail Passward"

となります。

※［パスワード］で入力した文字は、＊＊＊＊＊＊＊＊
　と表示されます。

【次へ】をクリックします。

以上で、インターネット接続の設定は終了です。

【完了】をクリックします。

④ インターネットへの接続方法及び切断方法。

接続方法及

Internet Exproler又は、Netscape Communicator等のブラウザーソフトを起動すると、左の様な接続画面が表示されます。

【接続】をクリックします。

モデム又はTAが（先程設定した）**ShineNeT** のアクセスポイントにダイヤルします。

接続に成功するとこのウィンドウが閉じて、画面の右下にコンピュータのアイコンが表示されます。

接続に失敗成功するとエラーが表示され、エラーの理由が表示されます。
モデムを使用しての接続で、何度接続しても『話し中』または、『相手のコンピュータが応答しない』と表示されて接続できない場合は、ダイアル方法の設定が違っている可能性があります。
10ページからの説明を見て、ダイアル方法を変更してみてください。

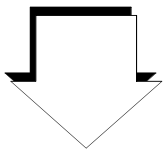
切断方法

右図の様に、接続アイコンが表示されている間は、電話が接続されていて、電話料金が課金されています。

接続を切断するには、以下の方法で行います。

Internet Exproler の場合

IInternet Exproler を終了します。
右図の『切断』ウィンドウが表示されますので、【はい】をクリックします。



Netscape Communicator の場合

Netscape Communicator の場合は、『切断』ウィンドウは表示されません。

画面の右下の接続アイコン（コンピュータが接続された絵）をダブルクリックします。
すると、『接続』ウィンドウが開きますので、【切断】をクリックします。

Appendix A

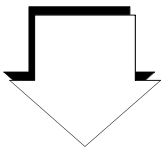
モデムを使用する場合、ダイアル方法の切替につきまして

電話回線からモデムを使用して接続する場合、何度接続しても『話し中』または、『相手のコンピュータが応答しない』と表示されて接続できない場合があります。
この場合、ダイアル方法を確認して下さい。

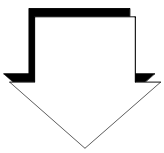
トーンは、いわゆる【プッシュホン】のことで、NTTとプッシュホン回線の契約を行っている場合です。
パルスは、従来からの電話回線です。

電話機が、プッシュホンであっても、NTTとプッシュホン回線の契約を行ってない場合は、【パルス】です。

8 ページの接続の画面で、【設定】をクリックします。



【ダイアルアップのプロパティ】をクリックします。



プッシュホン回線でない場合は、
ダイアル方法の【パルス】を選択します。

【OK】をクリックします。

プッシュホン回線の場合は、
ダイアル方法の【トーン】を選択します。

【OK】をクリックします。

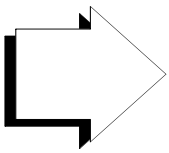
【OK】をクリックして、接続画面に戻ってから、もう一度接続を行います。

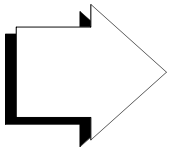
Appendix B

接続できない場合：モデムのフロー制御の設定。

パソコン内蔵のモデムを使用していて、接続できない又は接続できるが、画面の表示が遅い場合などには、下記の設定をお試し下さい。ご利用のパソコン及びモデム等によりどちらかをお試し下さい。

［マイコンピュータ］→［ダイアルアップネットワーク］を開きます。
接続のアイコンにマウスポインタを合せてマウスの右ボタンを押してメニューを表示させます。この中から【プロパティ】を選択します。





【設定】をクリックします。

［接続］をクリックします。

【詳細】をクリックします。

［フロー制御を使う］が、［ハードウェア(CTS/RTS)］となっている場合は、［ソフトウェア(XON/XOFF)］をチェックします。

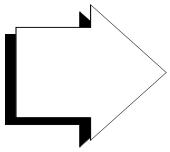
【OK】をクリックして開いたウィンドウ全ての閉じます。

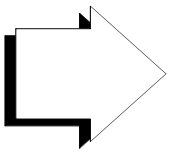
Appendix C

接続できない場合：DNSアドレスの設定。

DNSサーバーのアドレスは、接続時に通知されて、自動で設定されますが、この機能が上手く働かない場合があります。その際には、この設定をお試し下さい。

［マイコンピュータ］→［ダイアルアップネットワーク］を開きます。
接続のアイコンにマウスポインタを合せてマウスの右ボタンを押してメニューを表示させます。この中から【プロパティ】を選択します。





［サーバーの種類］をクリックします。

【TCP/IP の設定】をクリックします。

［ネームサーバーアドレスを指定する。］を選択して、

プライマリ DNS には、203.179.128.2 を入力します。

セカンダリ DNS には、

倉敷APの場合は、203.179.128.16 を

倉敷 AP 以外の場合は、203.179.128.185 を

【OK】をクリックして開いたウィンドウ全ての閉じます。

インターネット接続ガイド
Windows98(Second Edition)編

2000年1月1日　発行

許可なく複製、転載を禁ずる。

Shine On
Scalable, hi-quality network On ...
有限会社　シャイン・オン